

環境政策 環境に配慮した産業の活気があふれ、国際貢献するまちをめざす

【環境政策の目標】〔総合的目標〕

地域環境や地球環境を保全するためには、環境負荷の低減に寄与する技術の開発や産業の振興が不可欠です。また、いずれの産業においても環境対策・環境配慮が行われ、環境の保全・創造を基調とする社会経済活動が営まれることが重要であり、これらの結果が地域経済の活性化や雇用創出につながるものが大切です。以上のような環境と経済の好循環の実現、都市と産業との共生に向けて、国内はもとより海外への技術移転や人の交流等を進めることで、環境技術による国際貢献を果たし、環境保全を支える産業と社会の活気があふれるまちをめざします。

総合的な評価に用いる指標

施策の方向	指標	総合的な評価に用いるもの
V-1 環境関連産業の振興・育成	ゼロ・エミッション工業団地への視察者数	○
V-2 環境技術による国際貢献の推進	海外からの環境技術視察・研修の受入人数	○
	環境に係る国際会議・イベント等実施状況 環境技術開発に向けた事業者、大学、研究機関等との連携による共同研究の件数と実施内容	○

施策の方向 V-1 環境関連産業の振興・育成

指標	目標・現状・指標がめざす方向
ゼロ・エミッション工業団地への視察者数	【現状】3,890人（2009年度） 【指標がめざす方向】多いほうが良い

目標・指標の達成状況	指標評価	方向評価
■指標：ゼロ・エミッション工業団地への視察者数 4,518人（対前年度：364人増加、対基準年度：多い）	3	3

現 状

■ゼロ・エミッション工業団地への視察者数

今日的な環境問題の解決に向けては、市域における取組にとどまらず、関係する行政機関や近隣自治体はもとより、国連と協調し国外との連携も必要となります。

市では、国際連合環境計画連携事業や九都県市首脳会議等を通して、多角的な取組に積極的に参加・協力すること等により、広域的な対応を推進しています。

国際連合環境計画「UNEP」連携協調事業

産業と環境が調和した接続可能な都市モデルを形成するため、国際環境施策を推進しています。

UNEPと連携した「アジア・太平洋エコビジネスフォーラム」の開催や、友好都市である中国瀋陽市をはじめ海外からの視察・研修の受け入れなど市内企業の優れた環境技術や本市の環境保全の経験を活かした国際貢献を進めました。

具体的施策事業の概要

施策の方向	施策の柱
V-1 環境関連産業の振興・育成	V-1-1 環境調和型産業の振興・育成
	V-1-2 川崎臨海部エココンビナートの推進

V-1-1 環境調和型産業の振興・育成

V-1-1-1 環境調和型産業の振興・育成

具体的施策名	2011（平成23）年度実績	2012（平成24）年度計画等
環境調和型産業の振興 〔経：国際経済推進室〕	<ul style="list-style-type: none"> ・環境産業フォーラムを2回開催（のべ190人が参加） ・環境産業に関するホームページのリニューアルと情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境産業フォーラムの開催 ・市内環境技術・製品等の情報発信・ビジネス支援
先端産業等の立地の促進 〔経：工業振興課〕	先端産業創出支援制度等を活用した環境・エネルギー・ライフサイエンス分野の先端産業の立地促進	先端産業創出支援制度等を活用した環境・エネルギー・ライフサイエンス分野の先端産業の立地促進
海外販路の開拓 〔経：国際経済推進室〕	<ul style="list-style-type: none"> ・海外展開セミナー参加者数 350 人 ・海外企業ビジネスマッチング数 60 件 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外展開セミナー参加者数 350 人 ・海外企業ビジネスマッチング数 60 件
国際環境産業の推進 〔経：国際経済推進室〕	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎国際環境技術展 2012 の開催 ・優れた環境技術等を有する 136 団体 226 ブースが出展 ・海外 23 カ国 184 人を含む約 13,500 人が来場 ・環境技術の海外への移転に向けたビジネスマッチングを実施 	川崎国際環境技術展 2013 の開催
新エネルギー産業の創出 〔経：国際経済推進室〕	<ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギー産業セミナーを 2 回開催（延べ 190 人参加） ・川崎市新エネルギー振興協会による普及啓発活動等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギー産業セミナーの開催 ・川崎市新エネルギー振興協会の支援
川崎臨海部エココンビナートの推進 〔経：国際経済推進室〕	<ul style="list-style-type: none"> ・県と連携し、臨海部立地企業等が参画した「京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議」を 4 回開催するとともに、ワーキンググループを立ち上げ、企業間連携に向け、取組を進めた。 ・「特定工場緑地整備基本方針」に基づく緑化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・「京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議」及びワーキンググループの開催 ・「特定工場緑地整備基本方針」に基づく緑化の推進

V-1-2 川崎臨海部エココンビナートの推進

V-1-2-1 川崎臨海部エココンビナートの推進

具体的施策名	2011（平成23）年度実績	2012（平成24）年度計画等
臨海部における民間主導型の環境産業の立地等のエコタウン事業の推進 〔経：国際経済推進室〕	<ul style="list-style-type: none"> ・廃プラスチックアンモニア原料化施設 他3施設継続稼働中 	継続実施